

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 歯性感染症における炎症遷延化（長期化）因子の検討

[研究責任者] 歯科口腔外科 長谷川 令賀

#### [研究の背景]

歯性感染症の多くは外来治療で対応することが可能であり、抗菌薬の発達などにより重症歯性感染症は減少傾向にある。しかし、時に重篤な経過をとり入院加療を要する場合があります。炎症が遷延することもある。過去にも歯性感染症患者の臨床的検討の報告はあるが未だ少ないのが現状である。

本研究では歯性感染症で入院加療を要した患者を調査することで、炎症の遷延化（長期化）や入院期間の延長に係る因子を明らかにし、今後の確実な消炎治療への一助となるよう検討を行う。

#### [研究の目的]

歯性感染症の多くは外来治療で対応することが可能であるが、時に重篤な経過をとり入院加療を要する場合がある。歯性感染症における患者背景・検査値等と炎症の遷延化・入院期間の延長との関係を検討する。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

歯性感染症の患者さんで、西暦 2013 年 1 月 1 日から西暦 2021 年 12 月 31 日の間に入院下で消炎処置を受けた方

##### ●研究期間：西暦 2022 年 6 月 24 日から西暦 2022 年 11 月 6 日

##### ●利用する検体、カルテ情報

検体：血液、膿汁（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、診断名、原因菌、病歴に関する情報、その他）
- ② 血液所見（消炎処置前後及び入院期間中の血液検査所見）
- ③ X線写真（消炎処置前後のパノラマレントゲン写真）
- ④ C T（消炎処置前後の頭部～頸部の単純または造影 C T、歯科用コーンビーム C T）
- ⑤ 細菌培養検査（消炎処置の際に採取した膿汁）
- ⑥ 治療前後の症状や処置内容、入院期間など

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

歯科口腔外科 長谷川 令賀

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913